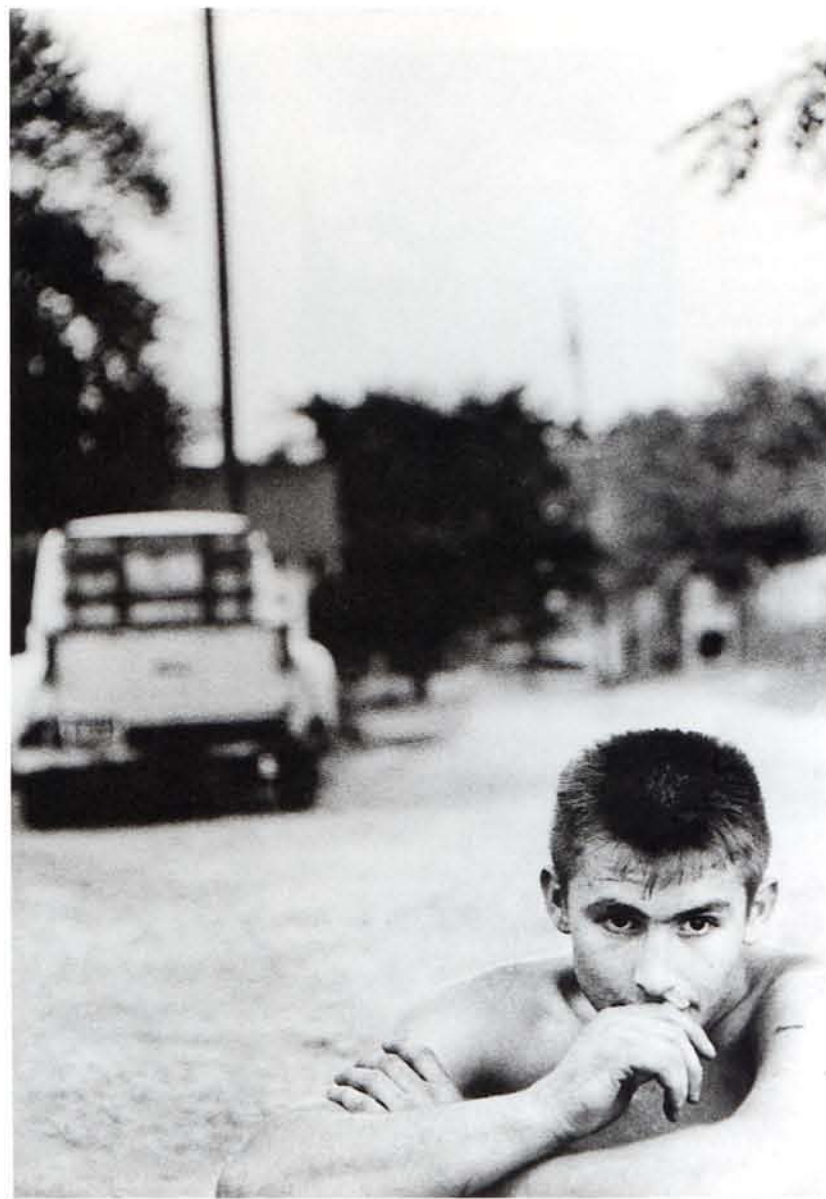


AMERICAN DOCUMENTS

in the fringe



アメリカンドキュメンツ展

社会の周縁から

'91年11月21日木 - '92年1月21日火 東京都写真美術館

主催 東京都写真美術館 観覧料 一般・大学生200 160 円 小・中・高校生100 80 円 〔内は10名以上の団体料金〕
開館時間 午前10時 午後6時 入館は5時30分まで 休館日 第2・4水曜日および12月28日土から1月4日土
〒150 東京都渋谷区恵比寿4-19-24 ☎03-3280-0031代 展覧会のご案内☎03-3280-0099(テレホンサービス)

JACOB RIIS/LEWIS HINE/WALKER EVANS/BEN SHAHN/ARTHUR ROTHSTEIN/MARION POST WALCOTT/
ジェイコブ・リース/ルイス・ハイン/ウォーカー・エヴァンス/ベン・シャーン/アーサー・ロスタイン/マリオン・ポスト・ウォルコット/トシ・ア・ラング/ヘレン・レヴィット/ラッセル・リー/
DOROTHEA LANGE/HELEN LEVITT/RUSSELL LEE/WEEGEE/ROBERT FRANK/LISETTE MODEL/DIANE ARBUS/
ウィージー/ロバート・フランク/リゼット・モデル/ダイアン・アール/ス/ゲリー・ウィノグラッド/フリードランダー/ラリー・クラーク/ロザリンド・ソロモン
GARRY WINOGRAND/LEE FRIEDLANDER/LARRY CLARK/ROSALIND SOLOMON

人や社会、出来事、状況の状況を写し取る、記録することは、写真の発明当初から現代に至るまで、写真の最も重要な機能として多くの写真家によって実践されてきた。特にアメリカのドキュメンタリー写真は独特な展開を果たし、日本の写真にも大きな影響を与えている。本展は、社会の周縁に生きる人々の状況や表情を生き生きと捉えた作品を中心に、当美術館収蔵作品の中から17作家134点で構成し、アメリカン・ドキュメンタリーの歴史と意味を探ろうとする試みである。

I. リースとハイン 社会改良の手段としてのドキュメンタリー

アメリカのドキュメンタリー写真の伝統的な特徴の一つとして、〈社会改良の手段としてのドキュメンタリー〉を挙げることができる。様々な社会問題や矛盾を主題として、その環境や状況を写真に捉え、少しでもその問題が解決するように人々に訴えかける手段として写真を使ったのである。19世紀の終焉から20世紀の初頭に、ニューヨークのスラムや移民、児童労働の実態を写したリースやハインの作品は、そうしたアメリカン・ドキュメンタリーの先駆的作品である。写真と文による彼らの訴えは人々に大きな衝撃を与え、児童労働法制定に貢献するなど、多大な影響力を持った。



ジェイコブ・リース《居酒屋(アメリカにて)》1880年代



ウィージー《非常階段の子供たち》1938年

をスキャンダラスに写したウィージーはオーストリア移民の子であった。普通の人々に潜む狂気とエネルギーを躍動感溢れる画面に表したモデルはヴェニスに生まれている。そして〈偉大なアメリカ〉の幻想に酔う1950年代のアメリカの、裏に隠れた孤独と矛盾を鮮やかに描き出したのは、スイス人のフランクであった。彼らは、曖昧さも偽善も許さない醒めた異邦人の視線で、アメリカ社会の深部を写し出した。

IV. ニュー・ドキュメンツ パーソナル・ヴィジョン

ベトナム戦争に象徴されるように、1960年代のアメリカは、偉大なアメリカの正義が揺るぎ、社会の矛盾が一気に吹き出した激動の時代であった。全ての人が共有できる客観的なメディアとしてのドキュメンタリーの神話は崩れ、一人一人の相違に基づく、パーソナルな視点でドキュメンタリーに持ち込まれた。1967年にニューヨーク近代美術館で開催された「ニュー・ドキュメンツ」展にはアーバスとウィノグラッド、フリードランダーの作品が出品され、ドキュメンタリーの新しい方向性が示された。「社会を改良するためのものではなく社会を知るための」ニュー・ドキュメンタリーの姿勢は、70年代に出版されたクラークの『タレサ』や80年代後半のソロモンの『エイズ時代の肖像』など、現代ドキュメンタリーを含め、数多くの作品に貫かれている。

◆講演会のお知らせ
テーマ=「ドキュメンタリーの思想」
日時= 92年1月18日土午後2時-4時
会場= 東京都庁・都民ホール
都庁講義室1階/新館西新館2-8-1
講師= 生井英考(文化史家、共立女子大学講師)



ウォーカー・エヴァンス《ペンシルヴェニア州ペンシルベニア》1936年



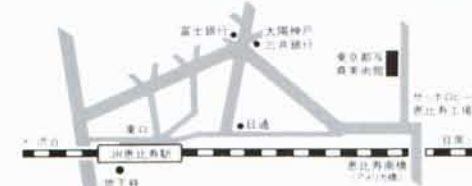
ゲリー・ウィノグラッド《スターテン・アイランド・フェリー、ニューヨーク州》1971年



フリードランダー《ヴァージニア州グレース》1962年

◆フロアレクチャーのお知らせ

第1回——'91年11月23日土午後2時より
第2回——'91年12月20日金午後4時より
第3回——'92年1月10日金午後4時より



東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography
〒150 東京都渋谷区恵比寿4-19-24 Tel. 03-3280-0031代
展覧会のご案内(テレホン・サービス): 03-3280-0099
交通機関: J日恵比寿駅より徒歩5分、お車での来場はご遠慮下さい